

失明原因1位、緑内障

清岡眼科 (御幸町) 清岡 博士



日本で失明原因が1位の病気が緑内障の話をさせていただきま

1. 緑内障とは

眼の神経が委縮し視力低下や視野が欠けてくる病気で、40歳以上では20人に1人に発症する病気で

2. 緑内障の種類

● 「開放隅角緑内障」

眼圧が高い緑内障です。

● 「正常眼圧緑内障」

眼圧が正常な緑内障で、緑内障の多くはこのタイプです。

● 「閉塞隅角緑内障」

あるとき急に発作を起こし眼圧が高くなる緑内障です。風邪薬などが発作の原因になることもありますので注意が必要です。

● 「先天性緑内障」

生まれたときから発症している緑内障です。

● 「続発性緑内障」

怪我や糖尿病などの病気が原因で起こる緑内障です。

3. 緑内障の検査

最初に、視力検査、眼圧検査、眼底検査などの眼科一般検査をします。眼圧が高かったり、眼底検査で眼の神経の異常を疑えば視野検査をします。それらの検査を総合的に判断し診断を下します。緑内障の初期段階では視野異常がなかったり、軽度異常の場合診断に苦慮する場合がありますが、光干渉断層計という特殊な眼底カメラによって、より早期の診断が可能となりました。

4. 緑内障の治療

緑内障治療の基本は眼圧を下げることです。正常眼圧緑内障でも眼圧を下げることで病気の進行を遅らせることができます。治療前の眼圧より2割下げることができれば半数の人の進行予防ができ、3割で80%の人の予防ができると言われています。ですから、治療初期の眼圧は治療前の3割程度を目標にします。眼圧20であれば、目標眼圧は14になります。

緑内障の点眼薬はいろいろな種類がありますが、病状や進行具合、体の病気などを考慮して処方します。中にはぜんそくや心臓病に悪影響をおよぼす薬もありますので注意が必要です。

緑内障は点眼薬での治療が基本となりますが、治療効果が不十分であれば手術が必要になります。閉塞隅角緑内障にはレーザー治療が必要な場合もあります。

5. 最後に

緑内障は自覚症状に乏しく、病気の発見が遅れがちです。ひとたび病気が進行すれば改善することはありません。40歳を過ぎると発症する可能性が高くなり、親族に緑内障の人がいれば要注意です。1年に1回の検査をお勧めします。

